

3年ぶりに 組合員研修

神奈川県・
JA相模原市

【神奈川県・相模原市】

JA相模原市は2月上旬、相模原市緑区の杜のホールはしもとで2022年度「組合員研修会」を3年ぶりに開いた。組合員ら178人が参加した。

講演では、日本協同組合連携機構（JCA）の小林元基礎研究



部長が、協同組合と組合員対話活動の必要性

について、14のテーマを説明。「協同組合は組合員が主人公の組織だと再認識してほしい」「元氣なJAを築くには、女性パワーが必要不可欠」と話した。

落語家で僧侶の露の団姫（つゆのまるこ）さんは「一隅を照らす、自分の持ち場で一生懸命」と題し講演し

パワーポイントで説明する小林部長（神奈川県相模原市で）

た。露の団姫さんは「自分が置かれている場所や立場でベストを尽くすことが日々の修行になる」と話した。

JA組織相談部の野中正宏部長は「組合員あつてのJA。対話活動を強化して元氣なJAを目指したい」と話した。

JAは組合員学習の一環で、地区役員や総代、支店の運営に携わる組合員らを対象に組合員研修会を開いている。